

巡回特別展

移動博物館の一つとして、63年度から巡回特別展を開始した。従来の移動博物館は公民館を会場として2日間の展示を行ってきたが、これとは別に学校教育との連携を深めることを目的にし、小学校の教室を会場に長期の展示を行うものである。

小学校の児童数の減少によって教室にゆとりができてきたので、教室を展示室とし、郷土学習に博物館資料を有効に利用してもらうことを目指している。

今回は初めての試みとして、市立横内小学校で行った。2教室の提供を受け、1教室を展示室とし、1教室を資料の収蔵室として使用している。

○テーマ 農具と生活用具

○内 容 動力農用機械や電気・ガスの普及以前の諸用具を展示し、現在と比較することによって生活の歴史を学ぶ。農具は江戸時代末の「四季耕作図」（写真パネル）と、これに描かれた稲作用具を対比しながら作業手順に沿って展示し、生活用具は現在の電化製品、ガス製品と比べ得る資料を展示した。展示資料は実物・模型44点及びパネル17点である。

○会 場 平塚市立横内小学校教室

○期 間 平成元年4月から平成2年3月（但し、期間は1年間に限定せず、博物館と学校との協議で延長も考える）

○展示資料 奈良・平安時代の竈模型、石製竈、釜、大釜、おひつ、おひついれ、ご飯籠、冷蔵庫、箆、つづら、わらじ、草履、長火鉢、火鉢（2点）、炭と炭入れ、ひのし、こて、糸車、座繰、龍吐水、苧織り機、うない鋤、さくり鋤、まんのう、手押し代掻き機、犁、苗代こて、馬鋤、ハロー、手押し除草機、田舟、千歯（明治期）、千歯（大正期）、足踏み脱穀機、くるり（2点）、唐箕、唐臼、万石、穀箕、一斗櫛、俵編み機、横内地区の石仏写真パネル（13点）、解説パネル（3点）、挨拶パネル（1点）